
人間ドック

■人間ドックを担当した先生

月 曜	山本寛八郎 東京都予防医学協会総合健診部	野田明子 東京都予防医学協会総合健診部
火 曜	野田明子 東京都予防医学協会総合健診部	高梨智子 三輪祐一 東京都予防医学協会画像診断科
水 曜	井辻智美 東京都予防医学協会総合健診部	外口弥生 東京都予防医学協会総合健診部
木 曜	松田裕香里 東京都予防医学協会総合健診部	小田啓介 順天堂大学病院
金 曜	須賀万智 聖マリアンナ医科大学	高梨智子
土 曜	小沼 心 順天堂大学病院	三輪祐一

■予防医学相談室を担当した先生

月 曜	三輪祐一 東京都予防医学協会総合健診部
水 曜	小野良樹 東京都予防医学協会保健会館クリニック
金 曜	埋忠洋一 日本経団連顧問医

人間ドックの実施成績

三輪 祐一

東京都予防医学協会総合健診部

はじめに

日本では1958(昭和33)年、内科的な検査を主体にした1泊2日の入院ドックがスタートした。これは一部の裕福な人が利用したものであった。しかしその後、予防医学の考えが台頭した。保険者にも病気になって診療費を払うより、病気の芽を摘むほうが廉価であるという思想が定着し、積極的に人間ドックが利用されるようになってきた。すなわち一部の富裕層の時代から、大衆の時代に呼応してきたわけである。人間ドックのシステムも当初、1泊2日要したものが、それより高度な検査を入れても3時間で完了することが可能になってきた。これは、コンピュータの導入、診断装置の改善などに起因する。したがって現在は、半日～1日ドックが主流である。受診者の意識は、当初、命ぜられるままにという他意的なものが多かったが、最近は健康意識の高まりを反映して自発的受診が多くなりつつある。人間ドックを受診することにより各自の身体的健康度はある程度把握でき、改善しなければならないことも判明する。他意的な受診者は、改善しなければならない点を指摘されながらも、漫然と過ごすことが多いが、自発的な受診者は改善する努力が見られ、いわゆる行動変容が、少しずつ現れてきた。これはこの2～3年に見られる傾向である。これこそが人間ドックの意義である。

東京都予防医学協会(以下「本会」)では2006(平成18)年より人間ドックの定員を30人に増やした。それに伴い施設を改装し、担当医も2人として診察・説明

に時間を取れるように配慮した。また、遅くとも午後2時30分に終了できるよう計画した。

2005年度人間ドック実施成績

[1] 性別、年齢別受診者数

男性受診者3,846人、女性受診者1,515人、計5,361人であった。これは前年度に比較し、それぞれ、308人、106人、計414人の増加(増加率8.4%)であった(図1)。

人間ドックの受診料は必ずしも廉価ではないが、この増加は、予防医学の重要性を示唆する。受診者の年代別頻度は男女とも35～59歳代が多い(表1)。

[2] 性別・判定別頻度(表2)

男性：異常なし・差し支えなし合わせてわずか4.1%であり、有所見率86.0%であった。有所見には単に、食事摂取の工夫や運動などにより所見が改善するものが多く含まれている。実際に受診を要する率は27.4%、治療を要するものは0.2%であった。要精検率10.0%である。これには悪性疾患を疑うものも含まれている。要精検率は10%以下が望ましく、高い傾向にあることは今後の課題である。

女性：異常なし、差し支えなし合わせて6.4%であり、男性よりやや多い。有所見の合計は80.0%でありこれは男性よりは少ない。しかし、要精検率が13.1%と高いのは、通常の検査に加えて、子宮がん検診、乳がん検診があるためと考えられる。

[3] 性・年齢・項目別有所見率(図2)

肥満・体脂肪率；54歳まで男性は女性より高値である。

高血圧；59歳までは男性に多いが、両性とも加齢的に高血圧が増加する。

糖尿；女性より男性により多い。

心臓所見；40歳以上の男性に有所見者が多く、加齢とともに有所見が増加する。

貧血；若年女性において約1割が貧血傾向を呈する。

腎機能・尿所見；女性は各年代において有所見率が高い。

肝機能；64歳まで男性は女性より肝機能有所見率

が高い傾向にある。

高脂血症；若年層では男性は女性より有所見率が高いが、50～60歳代においては女性が高くなる。これは閉経に起因すると考える。

尿酸；各年代とも男性が高い。食生活、特に飲酒の影響が推定される。

〔4〕人間ドックで発見・確定されたがん(表3)

早期胃がん 3人

早期子宮頸がん 1人

図1 人間ドックの実施成績

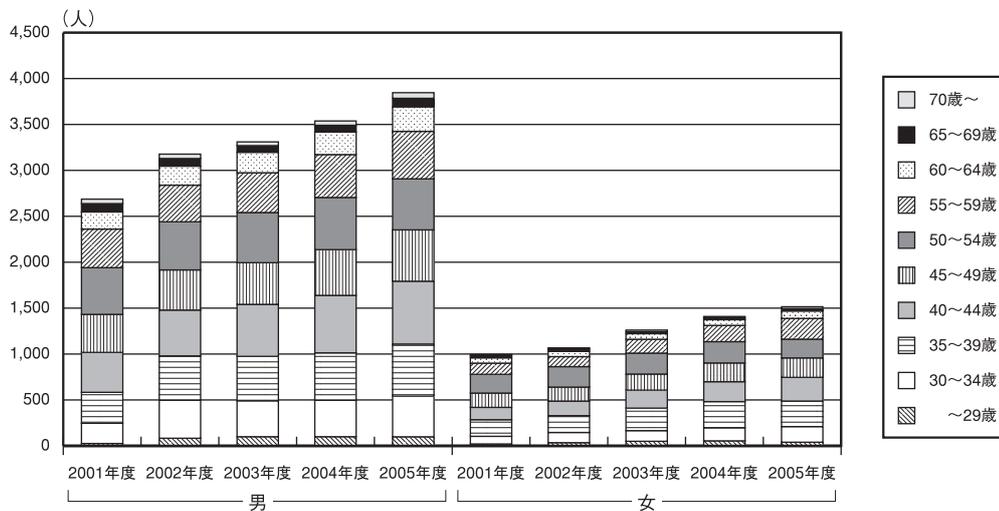


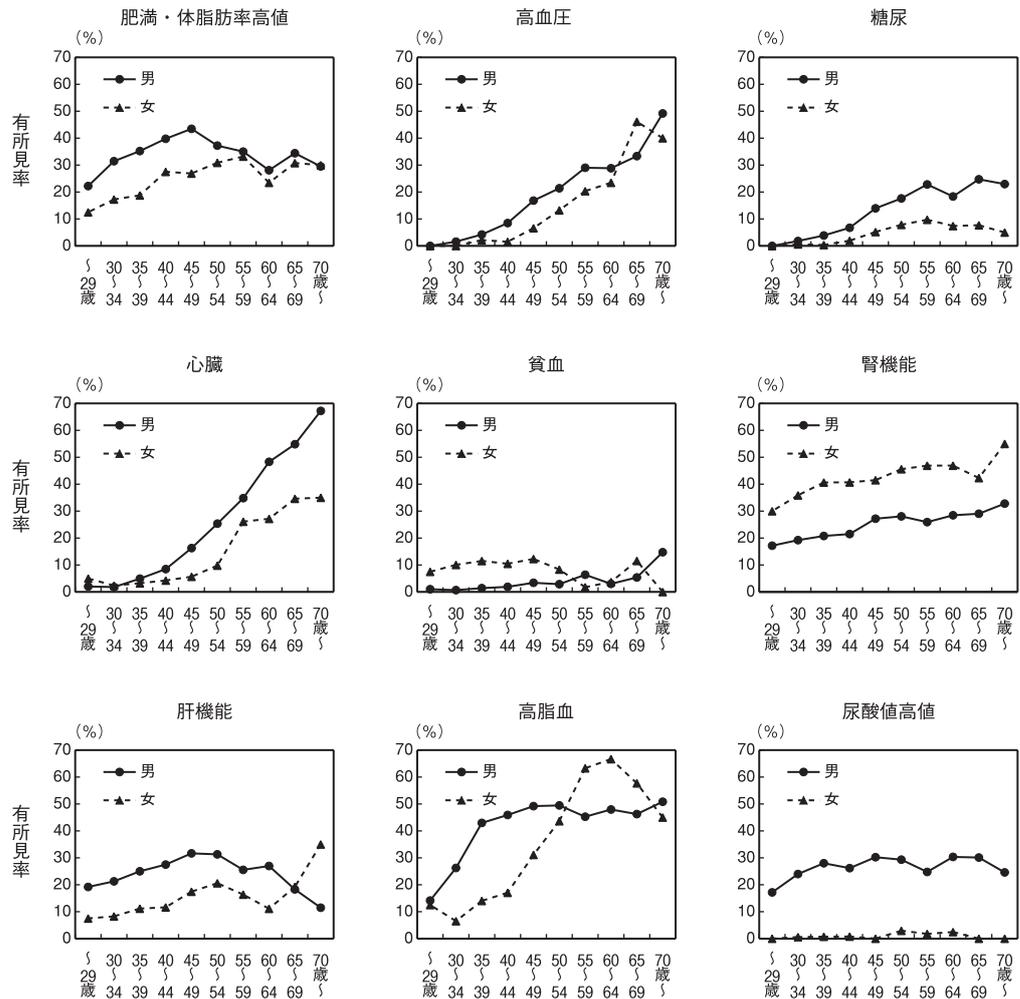
表1 性別・年齢別受診者数

		(2005年度)										
性別	年齢	~29歳	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳~	計
		男	受診者数 %	99 2.6	442 11.5	568 14.8	684 17.8	559 14.5	556 14.5	517 13.4	267 6.9	93 2.4
女	受診者数 %	40 2.6	170 11.2	278 18.3	258 17.0	212 14.0	204 13.5	226 14.9	81 5.3	26 1.7	20 1.3	1,515
計	受診者数 %	139 2.6	612 11.4	846 15.8	942 17.6	771 14.4	760 14.2	743 13.9	348 6.5	119 2.2	81 1.5	5,361

表2 性別・判別頻度

		(2005年度)										
性別	受診者数	異常なし	差し支えなし	有所見合計	有所見内訳					要精検	要再検	
					要注意	要観察	要受診	要治療	要治療継続			
男	数 %	3,846 2.2	83 1.9	71 1.9	3,308 86.0	244 6.3	1,505 39.1	1,053 27.4	6 0.2	500 13.0	383 10.0	1 0.0
女	数 %	1,515 1.7	26 1.7	71 4.7	1,212 80.0	118 7.8	601 39.7	357 23.6		136 9.0	199 13.1	7 0.5
計	数 %	5,361 2.0	109 2.0	142 2.7	4,520 84.3	362 6.8	2,106 39.3	1,410 26.3	6 0.1	636 11.9	582 10.9	8 0.2

図2 性・年齢・項目別有所見率



進行食道がん 2人

進行乳がん 2人

総括

受診後の安心感の提供と、必要かつ有効な行動変容への支援がドックの最大意義である。本会では人間ドック受診時の結果説明、結果報告が届いた後の

相談窓口としての予防医学相談室、さらには企業に出向いての保健指導などの活動を展開してきた。さらに2006年より予防医学相談室の担当医も増員し、相談者の対応がスムーズにできるようにした。これらの努力によって、「禁煙に成功した」、「節酒できた」、「腹囲が縮小した」などの報告を聞くと着実にその成果が現れつつあると実感している。

表3-1 人間ドックで発見・確定されたがんの推移

年度	胃 部 X 線						胸 部 C T				腹 部 超 音 波																					
	受診者数	発 見 が ん					受診者数	発 見 が ん			受診者数	発 見 が ん																				
		性	発見時の年齢	部位	早期進行	初回再診		性	発見時の年齢	部 位		早期進行	初回再診	性	発見時の年齢	部 位																
1995	2,145	男	58	胃	早期	再診	2,052	男	55	大細胞がん	不明	初回	2,234																			
		男	53	残胃	早期	再診																										
		男	44	胃	早期	再診																										
		男	61	胃	早期	再診																										
		男	66	胃	進行	初回																										
	男	71	食道	早期	再診																											
1996	2,478	男	60	胃	早期	初回	2,090	女	45	細気管支上皮がん	早期	初回	2,300																			
		男	46	胃	早期	初回																										
		男	56	胃	早期	初回																										
1997	2,427	男	63	胃	進行	再診	2,295	男	48	腺がん	早期	初回	2,494																			
		男	60	胃	早期	再診																										
		男	54	胃	早期	再診																										
1998	2,437	男	54	胃	進行	初回	2,437	男	52	胸膜上皮がん	早期	初回	2,505	女	50	浸潤性膵管がん	肝転移															
		男	57	胃	早期	初回												男	57	腺がん	早期	初回	女	66	転移性肝がん							
		男	54	胃	早期	初回																										
		男	51	胃	早期	初回																										
		男	51	胃	早期	再診																										
		男	57	胃	早期	再診																										
	男	65	胃	不明	初回																											
1999	2,860	男	60	食道	不明	再診	2,904	男	54	腺がん	進行	初回	3,009	女	61	腎細胞がん																
						女											44	膀胱がんからの転移	進行	初回	男	61	腎細胞がん									
																								女	48	肺胞上皮がん	早期	再診				
																															女	51
2000	2,934	男	52	食道	不明	再診	3,002	男	56	細気管支肺胞上皮がん	早期	再診	3,094	女	53	腎細胞がん																
		男	59	胃	早期	再診											男	49	腎細胞がん													
		男	61	胃	早期	再診														男	58	腎細胞がん										
		男	66	食道	進行	再診																	男	61	腎細胞がん							
2001	3,454	女	68	胃	早期	初回	2,820					3,678	男	63	肝細胞がん																	
2002	4,001	女	43	胃	進行	初回	2,928	男	63	腺がん	早期	初回	4,243	男	41	腎細胞がん																
2003	4,309	男	56	食道	進行	再診							4,571	男	41	腎細胞がん																
														男	53	胆のうがん																
2004	4,629	男	59	胃	早期	再診	3,928	男	51	腺がん	早期	再診	4,947	男	57	悪性リンパ腫																
		男	57	胃	早期	再診											男	55	扁平上皮がん	進行	再診	男	54	膵管がん								
		男	51	食道	進行	再診																			男	59	食道がんリンパ節転移					
						男	50	腎細胞がん																								
									女	61	腎細胞がん																					
												男	59	腎細胞がん																		
2005	5,025	男	72	胃	早期	初回	4,283												5,360													
		男	75	胃	早期	再診																										
		男	59	胃	早期	再診																										
		男	59	食道	進行	再診																										
		男	50	食道	進行	初回																										

表3-2 人間ドックで発見・確定されたがんの推移

年度	子宮頸部細胞診				乳房(触・エコー)				乳房(触・マンモ)				便潜血検査(2回法)		
	受診者数	発見がん			受診者数	発見がん			受診者数	発見がん			受診者数	発見がん	
		発見時の年齢	部位	早期進行		発見時の年齢	部位	早期進行		発見時の年齢	部位	早期進行		性	発見時の年齢
1995	441	48	微小浸潤がん	早期	454	51	浸潤性乳管がん	早期	0			2,108	男	52	
		56	微小浸潤がん	早期		57	硬がん	早期					男	58	
1996	428				454	40	充実腺管がん	早期	0			2,292			
1997	490	39 41	不明 上皮内がん	不明 早期	513	62	浸潤性乳管がん	早期	0			2,388			
1998	485	48	不明	不明	489				0			2,406			
1999	528				541	45	不明	不明	0			2,889	男	58	
						49	不明	不明					男	64	
2000	519				557				5			2,982	男	59	
2001	684	50	上皮内がん	早期	708	46	浸潤性乳管がん	早期	5			3,532			
		45	上皮内がん	早期											
		50	上皮内がん	早期											
2002	813				853	51	浸潤性乳管がん	早期	19			4,059	女	66	
2003	976	37	微小浸潤がん	早期	1,004	53	硬がん	早期	81			4,340	女	54	
						37	不明	不明							
2004	1,073	49	上皮内がん	早期	1,021	50	浸潤性乳管がん	早期	177			4,708	男	56	
2005	1,154	48	微小浸潤がん	早期	1,054	49	硬がん	進行	273	49	浸潤性乳管がん	進行	5,235		